

# きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。



第5号  
令和3年11月  
和歌山県  
長寿社会課

ココがすごい！

## 生活支援コーディネーター取組事例紹介 有田川町「ひだまりの和」

有田川町ではNPO法人「ひだまりの和」のメンバーが第2層生活支援コーディネーターとして活動をされています。今回、生活支援コーディネーターが「ひだまり通信」を発行すると聞いて、森田会長をはじめ、「ひだまりの和」の皆様取材させていただき、定例会にも参加させていただきました！



森田会長

### 生活支援コーディネーターが各地域に！

「ひだまりの和」は、平成28年に立ち上がり5年間活動されています。メンバーは、元小中学校教諭や元民生委員など退職された方々で構成され、メンバーそれぞれが町内各地域の第2層生活支援コーディネーターになっています。そして、それぞれが担当している地域の運動グループやサロンを訪問し、地域の良い取組や困りごとなどの情報収集にあたっています。元民生委員の方も多く、地域に入っていくのはお手の物とのことです！

### 地域のお宝さがしを開始！

「ひだまりの和」では、5月の第1回生活支援コーディネーター実践研修会を受け、地域の良い取組を「地域のお宝」として探す活動を開始！毎月開催している定例会で情報を共有されていました。



ひだまりの和のみなさま

### 今後の活動について

「ひだまりの和」では、今後も積極的に地域に出向き、お宝発見をするとともに、新たなお宝を作る活動をしていきたい！とのこと。森田会長は「いつでも自由に集まれるような場所を地域で工夫して作っていけるように支援したい」とおっしゃっていました。

## 地域のお宝を紹介するため「ひだまり通信」を作成！ 詳しくは次ページ

その地域のお宝を多くの方に知ってもらうため、「ひだまりの和」では、生活支援コーディネーターが発行する「ひだまり通信」を作成し、町内のみなさんに地域の素晴らしい取組を紹介することとなりました！

「ひだまり通信」では、「楽しいことをやっている」ことを「わかりやすく」、「住民目線」で伝えていきたいとのことです。

## 地域の活動（お宝）を広報する効果

和歌山県生活支援専門アドバイザーとして活動していただいている、さわやか福祉財団さわやかインストラクターの高林さんに、地域のお宝を広報する効果について伺いました。



和歌山県生活支援専門  
アドバイザー 高林氏

### 楽しそうなことをしてる！真似してみよう！

アドバイザーとして県内の市町村を訪問すると「地域の集いの場をもっと増やしたい」や「住民主体のサロンを促進したい」といった課題をよく聞きます。高林さんによると、そういった課題に効果があるのが、「こんな楽しいことをしているよ！」と広報することで、他地域の方が、楽しそうだから私達もやってみようかなと思いを始めるきっかけになるし、広報してもらった方にも喜んでもらえて自主性につながります。その際、「この楽しい活動が、実はこんな地域の支え合いにつながっているからとても良い活動なんだよ」と具体的に示してあげることが大事、とのこと！

## 県からのお知らせ

- 今年度から「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています！是非ご活用をお願いします。
- 皆様の取り組みを紹介させてください！県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。

連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521





# 生活支援コーディネーターが発行する 「ひだまり通信」！

「ひだまり通信」の素案ができてから完成されるまで、生活支援専門アドバイザーとともに一緒に考えさせていただきました。

## まずは素案を作成！

通信を作成するにあたり、まずは事務的な係をしているメンバーの方が、お一人で作成を始めました。

## 一人では難しい！

わかりやすいように「吹き出し」の形で素案を作成するところまでできたものの、他にどのような記事を盛り込んだらよいかに悩み、パソコンの操作も苦手で、試行錯誤することとなりました。



アドバイスを受けている様子



広報委員のみなさまと完成したひだまり通信

## 広報委員を結成！

そこで、町を通じて和歌山県生活支援専門アドバイザーの助言を受けることに。助言は「一人で悩まずにみんなそれぞれの得意分野で役割分担して作ろう」です。すぐにみなさん賛同し、広報委員が結成されることになりました！

## 工夫したところ

- アドバイザーからの助言を受け、広報委員で考えて以下を改善しました！
- ・レイアウトを考える人、記事を考える人など、役割を分担
  - ・高齢者の方々が見やすいように、構成や文字の大きさを調整
  - ・単に「ラジオ体操をしています」だけではなく、「交流の場にもなって良いことなんですよ」と伝わるように記載
  - ・生の声をわかりやすく伝えるため、セリフの形式で記載
  - ・生活支援体制整備事業の活動として知ってもらえるように記載

## 続刊が楽しみ！

参加させていただいた定例会では、このひだまり通信を「四半期ごとに発行していこう」と決めました。冬号として発行される予定の第2号も楽しみです。

# ひだまり通信

令和3年9月創刊号

有田川町金屋7番地金屋文化保健センター3階  
特定非営利法人 ひだまりの和 ☎32-2234

「お宝探し」から始まる地域づくり

コロナ禍の中で、地域で集まる事は難しい毎日ですが、各人が工夫して楽しく交流しているところを紹介しつづけます。皆さんからのご意見もお待ちしています。



## 賢のラジオ体操



賢地区の共撰駐車場で、毎朝6時30分からラジオ体操をする女性の集まりがあります。退職した方、現役の方と様々ですが、短時間の交流の場になっています。ラジオ体操は効率の良い筋肉運動ですが、ひとりではなかなか続きません。休むと「どうしたん？」と心配してくれたり、野菜が出来たからと持ってきてくれたりと、一日の始まりのひとつです。

早起きになって調子ええよ

体操が終わっても、なかなか帰りません 短時間の楽しい交流です

## 北地区農産物直売所

一人暮らしの方が増えている北地区は、介護が必要な方の割合が前年度と変わりなく元気な方が多い地区です。ここに「北直」という直売所があって、土、日、祝日ですが、常連さんが参加して、交流が盛んで、お互い元気をもらっています。社会活動に参加しようとするには力や体力が要ります。外出する機会が多い人は、長生きするという統計も出ています。売所はそういう場を作っていると大きな意義があります。



近頃調子ええけ？

コーヒー飲まんけ！

これ、食べんけ？私、作ったんよ

皆さん、地域で「お宝」探しませんか？

【つながる】をたどっていくと、さらなる【つながり】が見えてくる

【つながる】ことから【支え合い】は生まれる。日常の【つながり】は、地域の【宝物】です

NPO法人【ひだまりの和】は、誰かが誰かを気にかける地域づくりを応援しています

助け合いの地域づくり(生活支援体制整備事業)